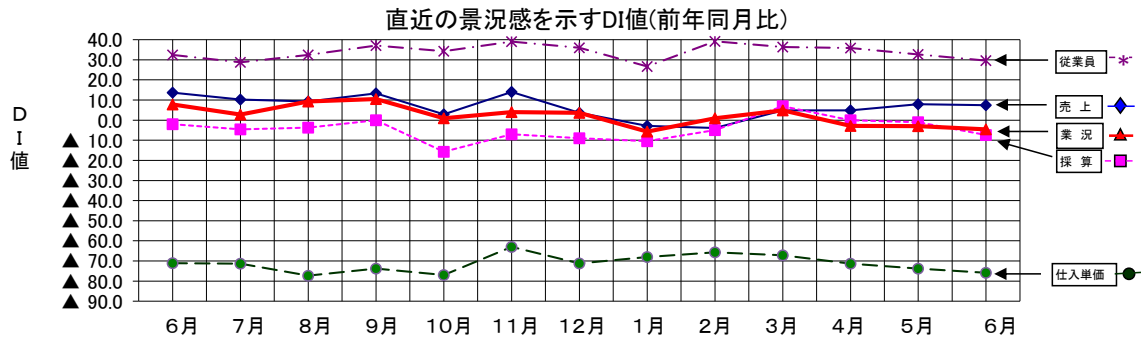


## 【6月の概要】

### 仕入単価の上昇に歯止めがかからず採算は悪化傾向が続く 国のエネルギーコスト補助終了により、企業負担増加を危惧する声も

直近の景況感を示すDI値は、「従業員」が3.1ポイント改善し、4か月連続での改善となった。一方、「売上」が0.5ポイント、「採算」が6.4ポイント、「業況」が1.6ポイント、「仕入単価」が2.1ポイント悪化。5指標中4指標で悪化した。「採算」「業況」は3か月連続、「仕入単価」は4か月連続で悪化を示している。先行き見通しを示すDI値も、「従業員」は改善を示しているものの、その他の4指標では悪化を示している。

コメントでは、新潟駅リニューアルによる経済波及効果を窺わせるコメントが見られた一方、原材料高騰、物価高に加え、国の電気・ガス代に対する負担軽減策が終了することから、来月以降のエネルギーコストの負担増を不安視する声が寄せられるなど、苦しい経営状況が続いている。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)  
(Diffusion Index の略)

|      | 2023年<br>6月 | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 2024年<br>6月 |
|------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|
| 売上   | 13.7        | 10.2   | 9.3    | 13.3   | 2.9    | 14.0   | 3.6    | ▲ 2.9  | ▲ 3.9  | 4.9    | 4.9    | 7.9    | 7.4         |
| 採算   | ▲ 2.0       | ▲ 4.6  | ▲ 3.7  | 0.0    | ▲ 15.7 | ▲ 7.0  | ▲ 9.0  | ▲ 10.5 | ▲ 4.9  | 6.9    | 0.0    | ▲ 1.0  | ▲ 7.4       |
| 業況   | 7.8         | 2.8    | 9.3    | 10.5   | 1.0    | 4.0    | 3.6    | ▲ 5.7  | 1.0    | 4.9    | ▲ 2.9  | ▲ 3.0  | ▲ 4.6       |
| 仕入単価 | ▲ 71.1      | ▲ 71.3 | ▲ 77.3 | ▲ 73.8 | ▲ 77.0 | ▲ 63.0 | ▲ 71.2 | ▲ 68.1 | ▲ 65.7 | ▲ 67.2 | ▲ 71.4 | ▲ 73.8 | ▲ 75.9      |
| 従業員  | 32.4        | 28.7   | 32.4   | 37.1   | 34.3   | 39.0   | 36.0   | 26.7   | 39.2   | 36.3   | 35.9   | 32.7   | 29.6        |

- ・プラス幅が減少したDI値：売上▲0.5ポイント、従業員▲3.1ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が増加したDI値：採算▲6.4ポイント、業況▲1.6ポイント、仕入単価▲2.1ポイント

### 【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

|    | 売上(受注・出荷) | 採算    | 業況  | 仕入単価   | 従業員  |
|----|-----------|-------|-----|--------|------|
| 4月 | 7.8       | 1.0   | 3.9 | ▲ 44.7 | 39.8 |
| 5月 | 11.9      | 0.0   | 4.0 | ▲ 55.5 | 35.6 |
| 6月 | 9.3       | ▲ 2.8 | 3.7 | ▲ 57.4 | 34.3 |

- ・見通しが改善したDI値：従業員▲1.3ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲2.6ポイント、採算▲2.8ポイント、業況▲0.3ポイント、仕入単価▲1.9ポイント

### 【業界から寄せられた主なコメント】

|       |         |                                                        |
|-------|---------|--------------------------------------------------------|
| 建設業   | 土木建築工事  | 原材料高騰、物価高により経営が厳しい。早急な経済政策を望む。                         |
|       | 管工事業    | 来年度の新卒採用、若年層の中途採用がうまくいっていない。                           |
| 製造業   | 製菓      | 人手不足、円安による輸入原材料の値上がりに加え、定額減税の事務処理が煩わしい。                |
|       | 板金・溶接   | 定額減税は事務所の仕事ばかり増えて何一つ得した気持ちにならない。給付金の方がよほど良かった。         |
| 卸売業   | 青果      | 春先の気温の乱高下を受け青果物の出荷不安定状態から一時一部の品目で高騰したが、徐々に落ち着きを見せている。  |
| 小売業   | ホームセンター | 高止まりする物価、6月以降の電気料金高騰への不安感からか、消費者の節約意識の高さが窺える。          |
| サービス業 | 警備      | エネルギー関連コスト、人件費の上昇により利益が圧迫される状況が続く。価格転嫁を進めることが今後の課題。    |
|       | 建物サービス  | 価格転嫁が進んでおり好転に向かっているが、継続して価格改定を行わないとまた厳しい状況に逆戻りしてしまう。   |
|       | 運輸      | 4月からトラック運転者の改善基準告示が適用され2か月が経過したが、今のところ大きな問題は発生していない。   |
|       | 看板      | 駅リニューアルに伴い、周辺の商業施設等のサイン・装飾を見直す動きがでている。間接的な効果が見られ今後に期待。 |